



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月28日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社 上場取引所 東
コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）今井 雅之
問合せ先責任者（役職名）経営戦略部広報・IR担当課長（氏名）村山 大輔 TEL 0463-22-8894
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年11月19日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	63,396	7.0	4,725	△7.0	4,693	△10.7	2,701	△41.7
2025年3月期中間期	59,271	4.2	5,078	32.4	5,253	30.9	4,635	80.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 4,851百万円（41.3%） 2025年3月期中間期 3,432百万円（△39.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	220.14	—
2025年3月期中間期	377.76	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	172,058	67,503	35.8
2025年3月期	165,444	63,402	34.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 61,576百万円 2025年3月期 57,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,900	5.7	5,610	△24.1	5,450	△29.6	2,860	△43.7	233.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2025年10月28日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	12,600,000株	2025年3月期	12,600,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	328,854株	2025年3月期	328,810株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	12,271,159株	2025年3月期中間期	12,271,430株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にある一方、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は、63,396百万円（前年同期比7.0%増）となりましたが、設備投資拡大による減価償却費の増加などにより、営業利益は4,725百万円（前年同期比7.0%減）、経常利益は4,693百万円（前年同期比10.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は、2,701百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、旅客需要が堅調に推移したことにより増収となりました。また、4月に藤沢市天神町におけるA I オンデマンドバス実証実験の運行時間帯を拡大するなど、持続可能なモビリティサービスの実現に向けた取り組みを推進するとともに、7月には道の駅「湘南ちがさき」の開業に伴い、茅ヶ崎駅南口と同施設を結ぶ新系統の運行を開始し新たな需要に対応いたしました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー㈱にて一車当たりの収入が増加したことにより増収となりました。

貸切バス事業においては、神奈中観光㈱にて契約単価の向上を図ったことにより増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は29,545百万円（前年同期比0.9%増）となりましたが、減価償却費の増加や従業員の待遇改善による人件費の増加により、営業利益は1,819百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業においては、高稼働率の維持に努めたものの、一部テナントの解約などにより減収となりました。

分譲事業においては、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は3,516百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は1,334百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

(自動車販売事業)

商用車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売㈱にて小型トラックの新車販売台数が増加したことや、車両整備収入が増加したことなどにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ㈱にて新車および中古車販売台数の増加により増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は20,102百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は948百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(その他の事業)

商用車架装事業においては、横浜車輛工業㈱にてカプラ架装の受注が増加したことなどにより増収となりました。

飲食事業においては、㈱神奈中システムプランにて「ミスタードーナツ」や「ドトールコーヒーショップ」の新規出店などにより増収となりました。

流通事業においては、㈱神奈中商事にて前期に販売したバス運賃箱の反動減などにより減収となりました。

情報サービス事業においては、㈱神奈中情報システムにて前期に販売したドライブレコーダーなどのバス車載器の反動減などにより減収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門にてインバウンド需要が増加したものの、前期に平塚別館を閉館したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は14,695百万円（前年同期比3.2%減）となりましたが、商用車架装事業の増収に加え、不採算店舗の閉店を進め費用の削減を図ったことなどにより、営業利益は798百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の変動状況

総資産は、現金及び預金が減少しましたが、商用車架装事業における事務所・工場移転用地取得に伴い土地が増加したことや、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより、前期末に比べて6,614百万円増加し、172,058百万円となりました。

負債は、旅客自動車事業において前受収益が増加したことなどにより、前期末に比べて2,513百万円増加し、104,555百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末に比べて4,101百万円増加し、67,503百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益4,535百万円に減価償却費などを加減した結果、5,957百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出6,497百万円などにより、6,651百万円の資金支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いによる支出などにより、500百万円の資金支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は、前連結会計年度末に比べて1,194百万円減少し、3,077百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、自動車販売事業において商用車の新車販売や車両整備収入が堅調であることに加え、旅客自動車事業において燃料費が想定を下回って推移していることなどにより、2025年4月30日に公表した通期の業績予想を修正しております。

セグメント別の詳細は、本日公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料」をご参照ください。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	119,700	4,870	4,650	2,520	205.36
今回修正予想 (B)	124,900	5,610	5,450	2,860	233.07
増減額 (B-A)	5,200	740	800	340	
増減率 (%)	4.3	15.2	17.2	13.5	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	118,149	7,388	7,745	5,083	414.28

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,272	3,077
受取手形、売掛金及び契約資産	9,746	10,687
商品及び製品	14,253	15,388
仕掛品	47	57
原材料及び貯蔵品	653	591
その他	2,922	2,942
貸倒引当金	△21	△17
流動資産合計	31,874	32,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,712	98,346
車両運搬具	42,511	41,705
土地	62,450	66,317
その他	16,016	15,852
減価償却累計額	△104,698	△106,579
有形固定資産合計	111,992	115,642
無形固定資産	950	879
投資その他の資産		
投資有価証券	17,864	20,593
その他	2,791	2,246
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	20,626	22,810
固定資産合計	133,570	139,331
資産合計	165,444	172,058
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,622	7,165
短期借入金	20,982	20,378
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,244	1,083
賞与引当金	2,462	2,312
環境対策引当金	438	301
その他	14,201	16,496
流動負債合計	56,952	57,737
固定負債		
社債	12,000	12,000
長期借入金	17,366	18,359
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,498	3,358
その他	12,222	13,096
固定負債合計	45,089	46,817
負債合計	102,042	104,555

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	48,737	50,825
自己株式	△939	△939
株主資本合計	51,681	53,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,996	7,764
退職給付に係る調整累計額	50	42
その他の包括利益累計額合計	6,046	7,807
非支配株主持分	5,674	5,927
純資産合計	63,402	67,503
負債純資産合計	165,444	172,058

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	29,177	29,449
不動産事業売上高	3,229	3,457
その他の事業売上高	26,864	30,490
売上高合計	59,271	63,396
売上原価		
旅客自動車事業運送費	23,753	24,737
不動産事業売上原価	1,510	1,806
その他の事業売上原価	22,193	25,119
売上原価合計	47,456	51,663
売上総利益	11,814	11,733
販売費及び一般管理費		
販売費	4,163	4,300
一般管理費	2,572	2,707
販売費及び一般管理費合計	6,736	7,008
営業利益	5,078	4,725
営業外収益		
受取配当金	237	311
助成金収入	84	4
その他	100	81
営業外収益合計	422	397
営業外費用		
支払利息	188	315
その他	59	113
営業外費用合計	247	428
経常利益	5,253	4,693
特別利益		
固定資産売却益	53	23
補助金収入	168	298
投資有価証券売却益	—	54
特別利益合計	222	376
特別損失		
固定資産除却損	194	204
固定資産圧縮損	165	284
その他	70	46
特別損失合計	430	535
税金等調整前中間純利益	5,044	4,535
法人税、住民税及び事業税	975	1,017
法人税等調整額	△830	464
法人税等合計	144	1,482
中間純利益	4,900	3,052
非支配株主に帰属する中間純利益	264	351
親会社株主に帰属する中間純利益	4,635	2,701

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,900	3,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,469	1,805
退職給付に係る調整額	1	△7
その他の包括利益合計	△1,467	1,798
中間包括利益	3,432	4,851
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,122	4,462
非支配株主に係る中間包括利益	309	389

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,044	4,535
減価償却費	2,615	3,088
減損損失	57	45
賞与引当金の増減額(△は減少)	△219	△152
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△64	△153
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△137
受取利息及び受取配当金	△239	△317
支払利息	188	315
持分法による投資損益(△は益)	15	16
固定資産除売却損益(△は益)	△37	△22
固定資産圧縮損	165	284
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△54
売上債権の増減額(△は増加)	1,299	△918
棚卸資産の増減額(△は増加)	215	△1,063
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,954	△466
未払消費税等の増減額(△は減少)	△564	738
預り保証金の増減額(△は減少)	△68	△32
差入保証金の増減額(△は増加)	52	15
その他	1,123	1,460
小計	7,617	7,175
利息及び配当金の受取額	239	317
利息の支払額	△156	△295
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,106	△1,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,594	5,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△206	—
定期預金の払戻による収入	207	—
固定資産の取得による支出	△4,850	△6,497
固定資産の売却による収入	89	23
資産除去債務の履行による支出	△108	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△169
短期貸付けによる支出	△4	△5
短期貸付金の回収による収入	0	0
長期貸付けによる支出	△2	△1
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,875	△6,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	765	△224
リース債務の返済による支出	△485	△142
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△1,776	△2,386
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△488	△612
非支配株主への配当金の支払額	△2	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,987	△500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268	△1,194
現金及び現金同等物の期首残高	3,169	4,272
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,900	3,077

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	29,177	3,229	16,981	9,883	59,271	—	59,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	6	379	5,299	5,784	△5,784	—
計	29,276	3,235	17,360	15,183	65,055	△5,784	59,271
セグメント利益	2,605	1,278	864	528	5,276	△198	5,078

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△198百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	29,449	3,457	19,720	10,769	63,396	—	63,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96	59	381	3,925	4,462	△4,462	—
計	29,545	3,516	20,102	14,695	67,859	△4,462	63,396
セグメント利益	1,819	1,334	948	798	4,901	△176	4,725

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△176百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。